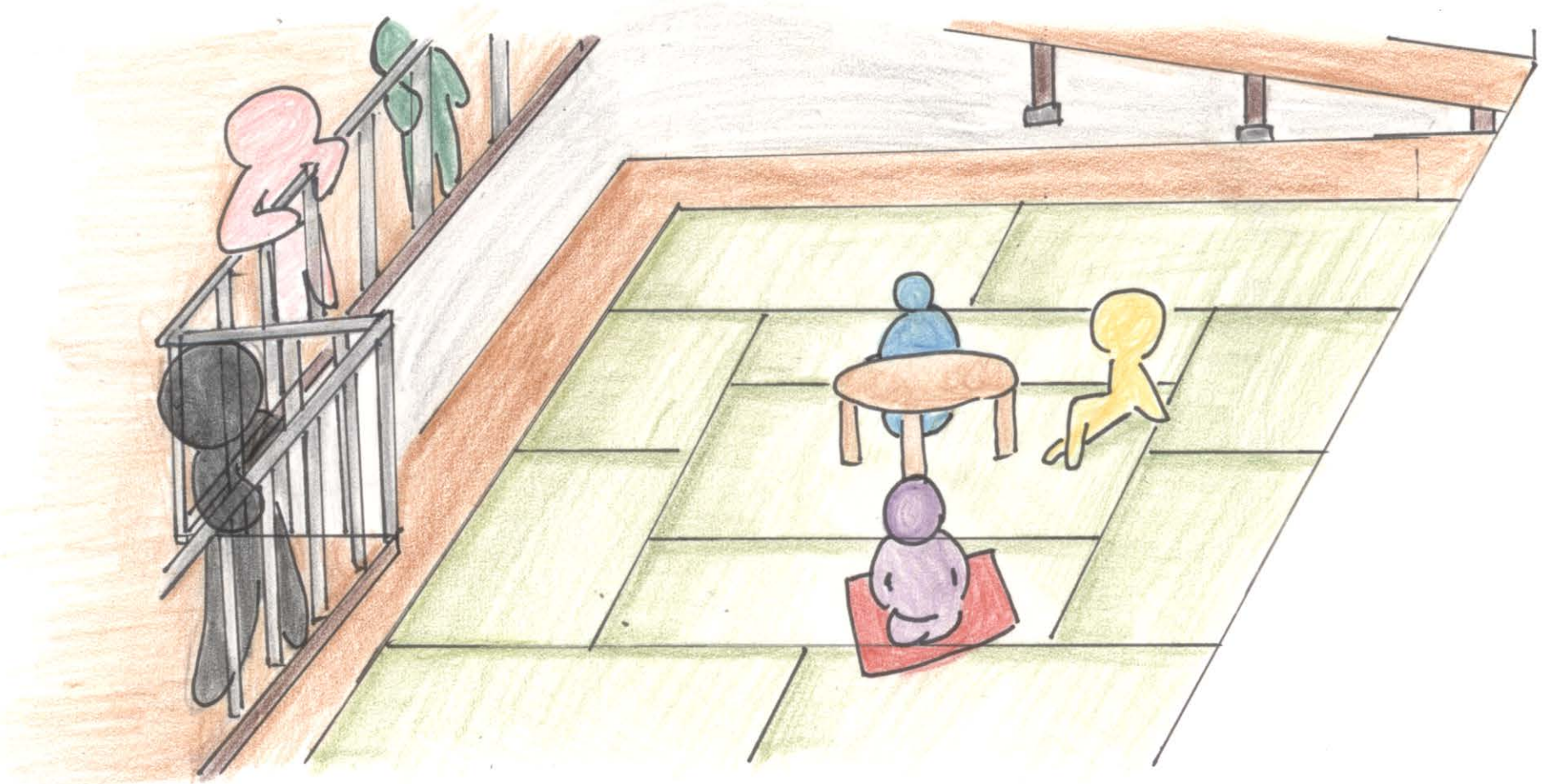
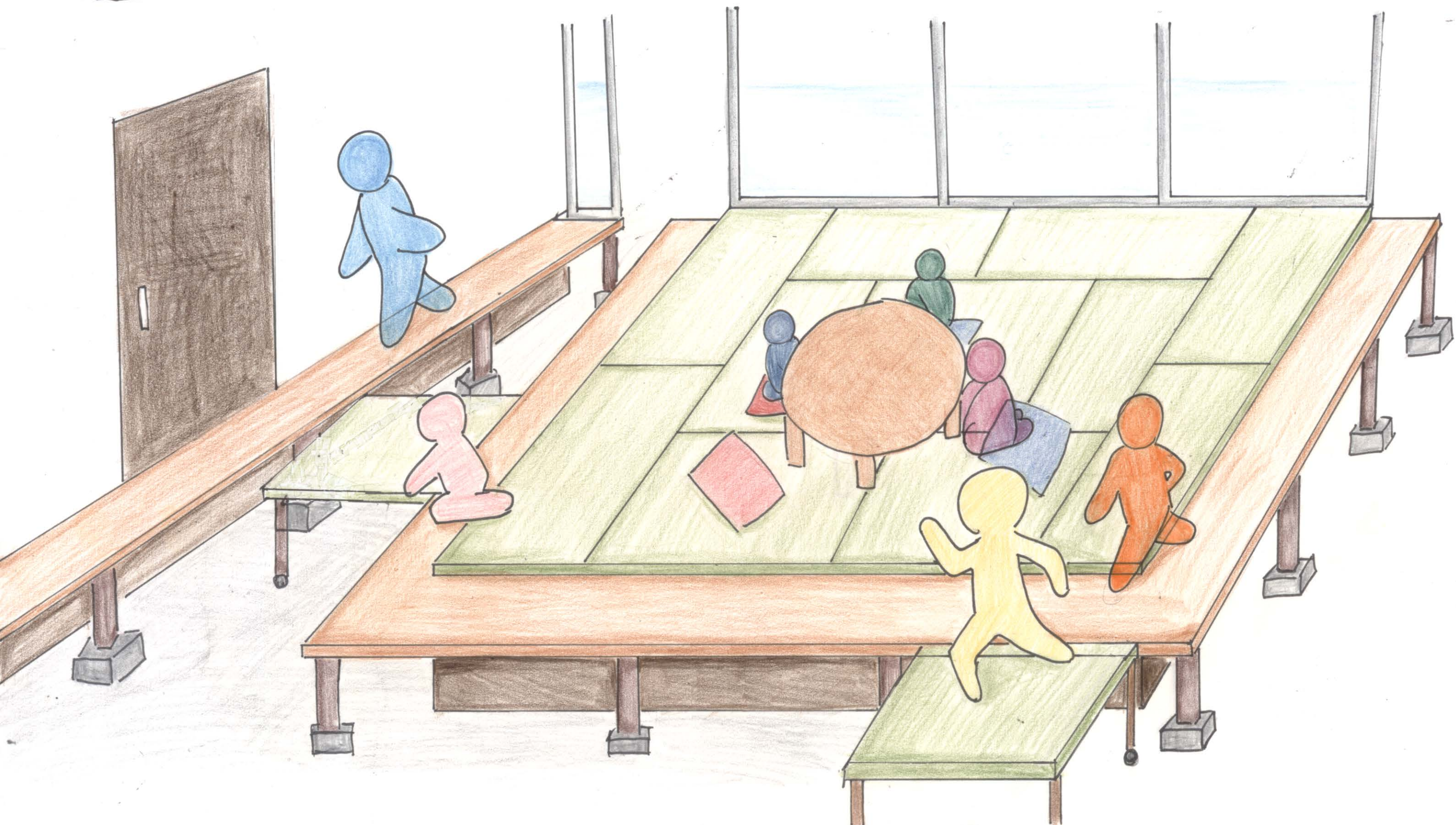
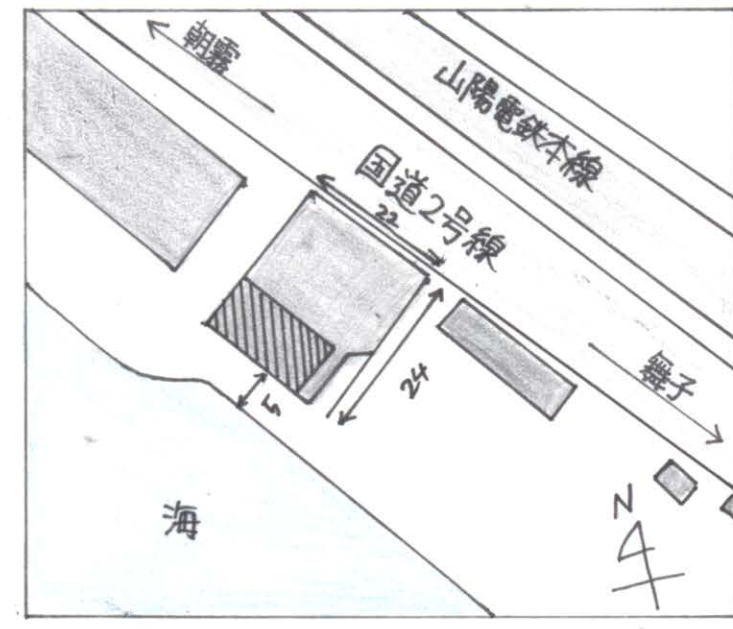


和室から広がる家族の暮らし

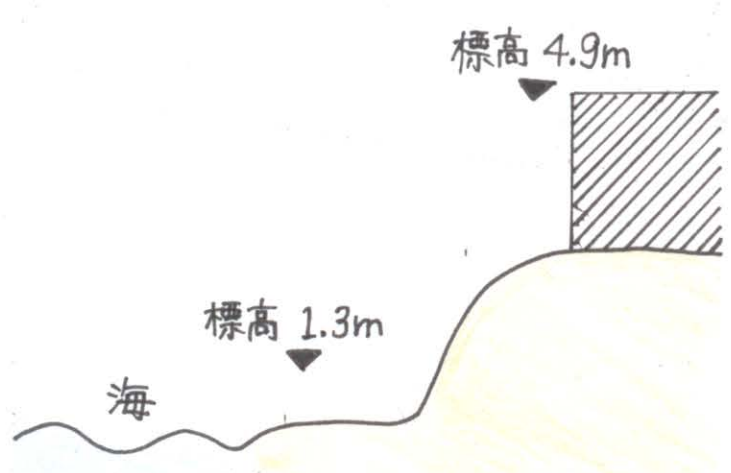


コンセプト

和室は本来、家族の集い、くつろぐ居心地の良い場所であり、家族のコミュニケーションの中心となる場所であった。本提案では、この和室を現代の暮らしに呼び戻し、家の中心に捉える。また、時のまち、海のまち、食のまちである兵庫の特色を家族と共に共有できる住まいである。こうして、和室は再び家族のコミュニケーションを中心として機能し、家族の絆を深める新しい和室の形となる。



配置図 S=1/1000

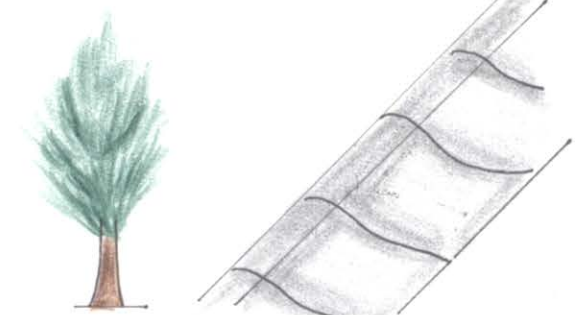


敷地条件

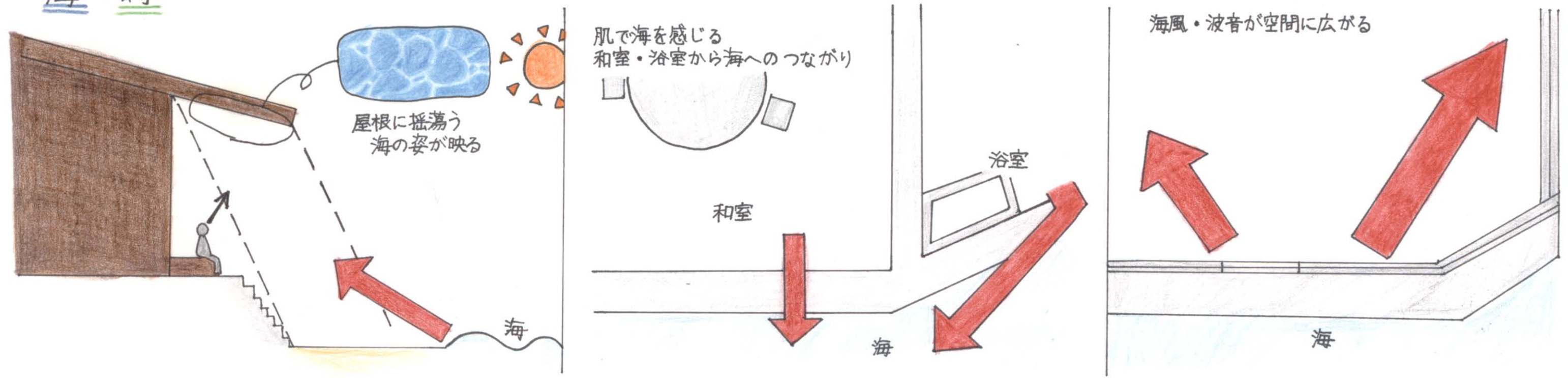
場所 兵庫県神戸市
構造 木造
建築様式 建て替え

面積表	
敷地面積	約528m ²
建築面積	約121.5m ²
1階床面積	約113.3m ²
2階床面積	約113.3m ²
延べ床面積	約226.6m ²

材料
兵庫の建材を使う
・木材 → 栗杉
・瓦 → 漆路瓦

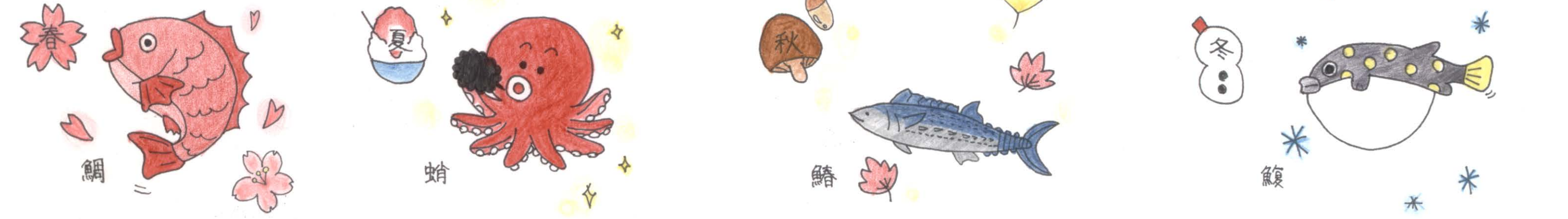


海×時



食×時×海

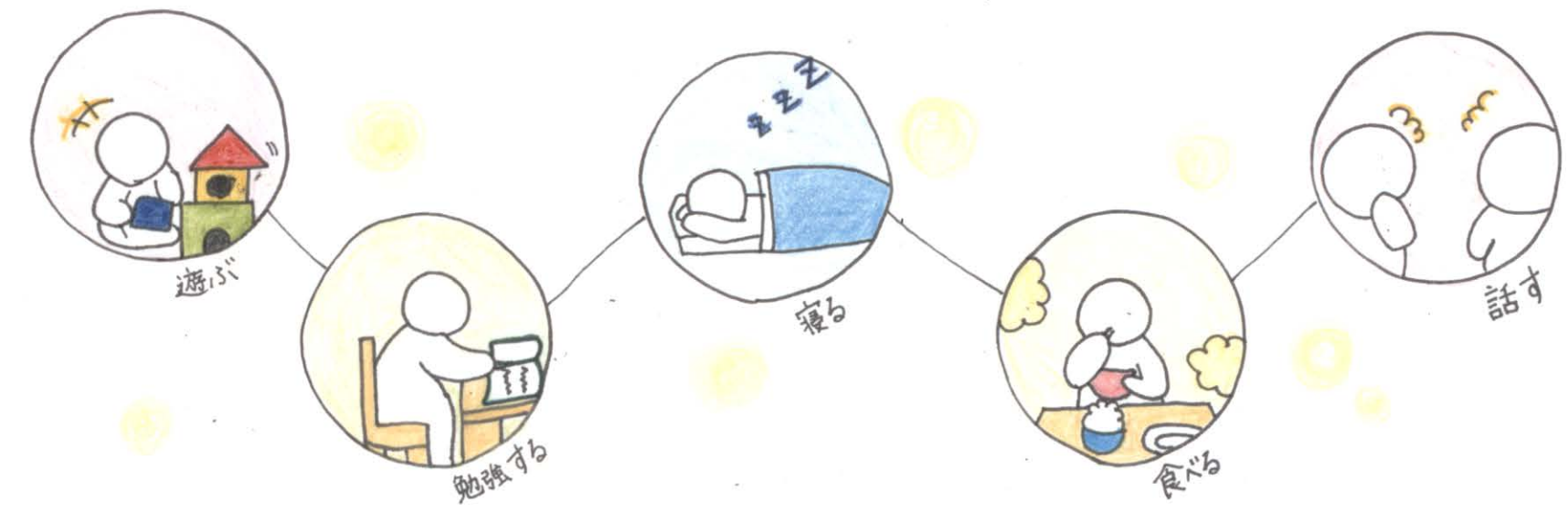
土間・キッチンには魚を扱いやすい



海の幸を堪能しながら、季節の移ろいを感じられる

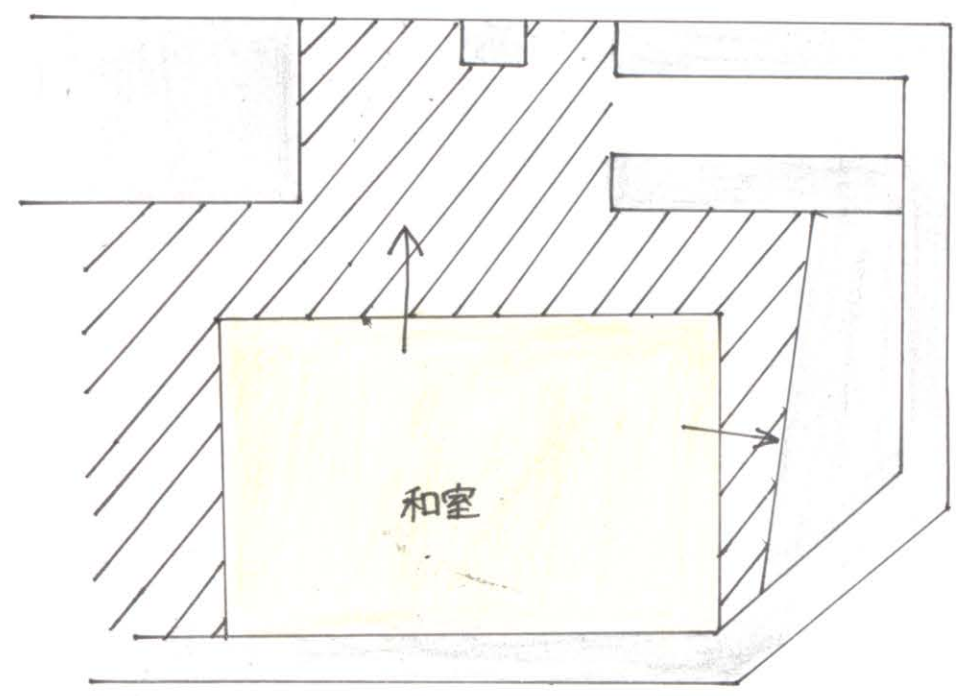
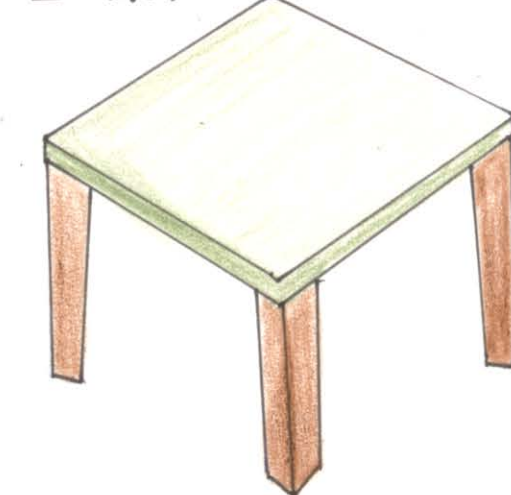
和室である必要性

家の中心である和室は家族が多くの時間を過ごす「遊ぶ・机に座る・寝る・食事をする」という多様な過ごし方を受け入れる和室である必要がある

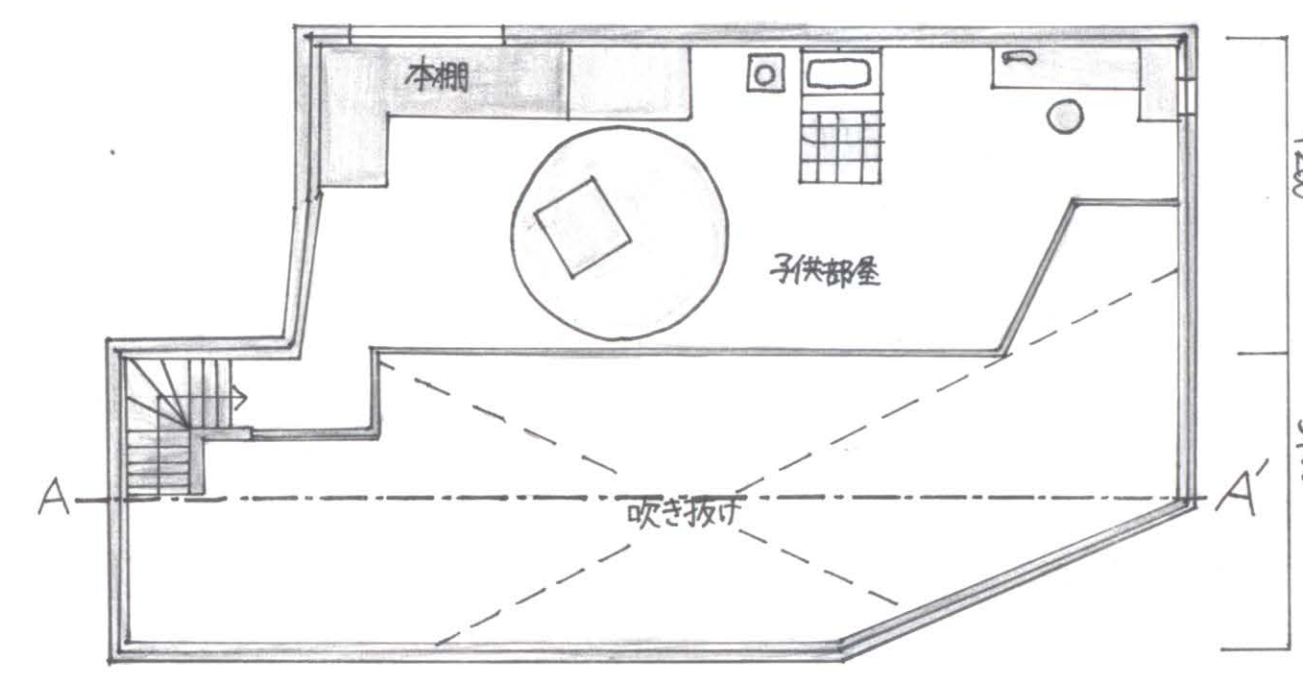


空間を繋ぐ

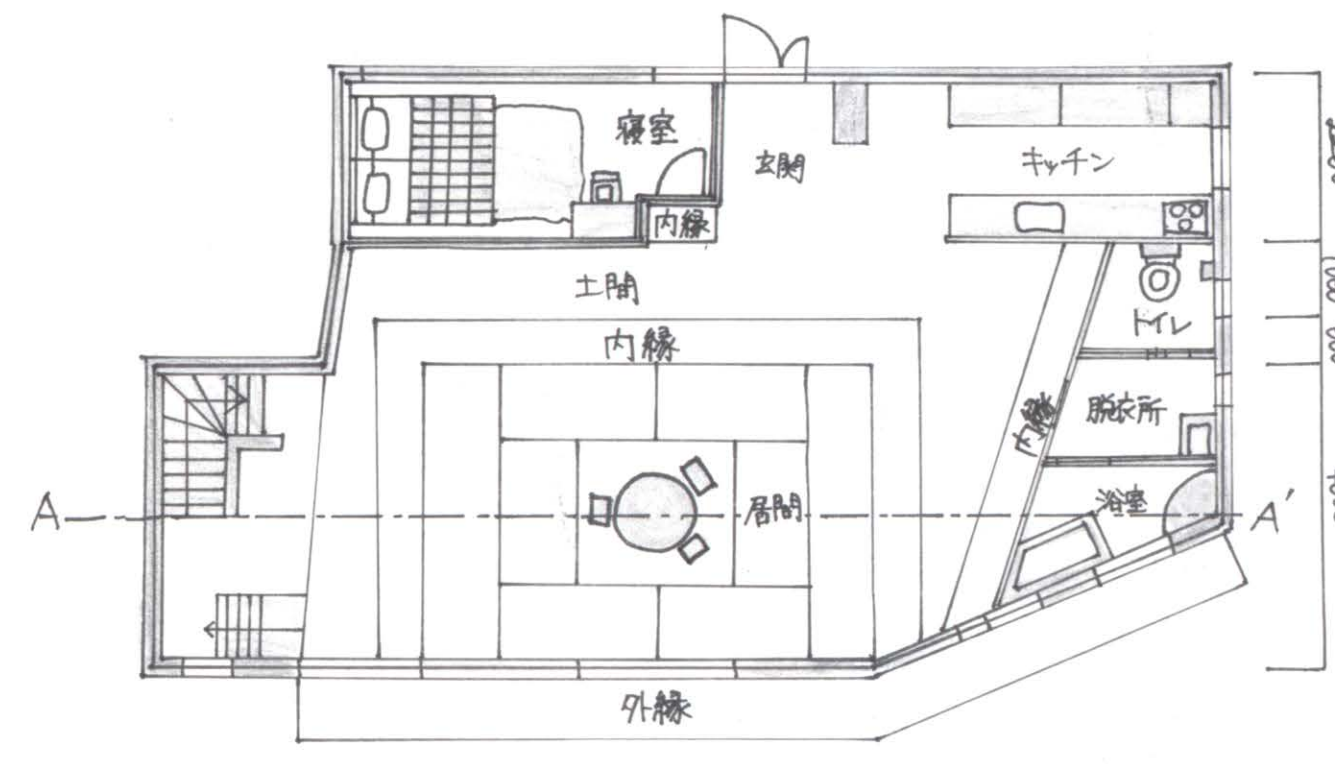
畳の橋(※)



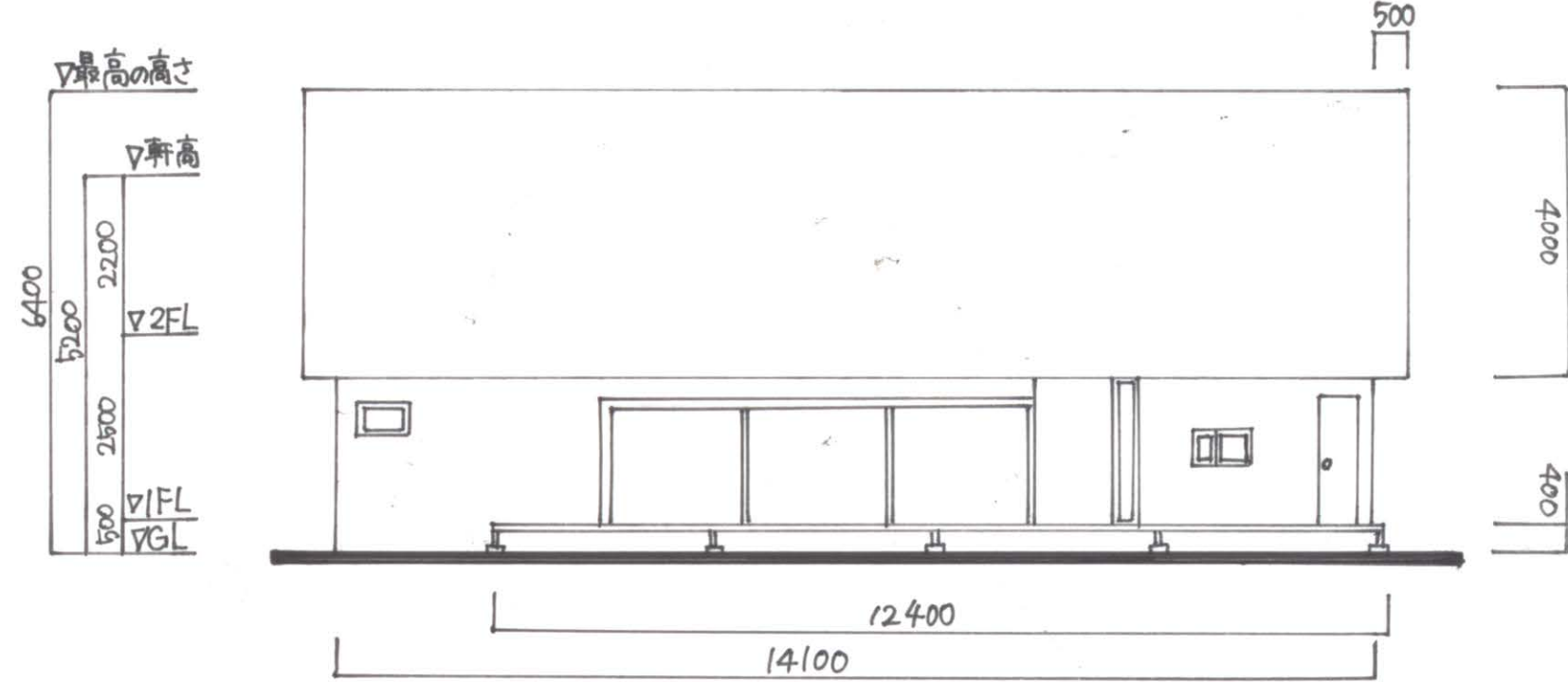
和室は土間に囲まれている。周りの部屋に移動するためには橋として機能する畳(※)を動かして渡らなければならない。→一見、手間のように感じるが、この行為は家族の共同作業であり、新しいコミュニケーションを生み出す。畳の橋は単なる通路ではなく、家族をつなぐ装置としても機能する。



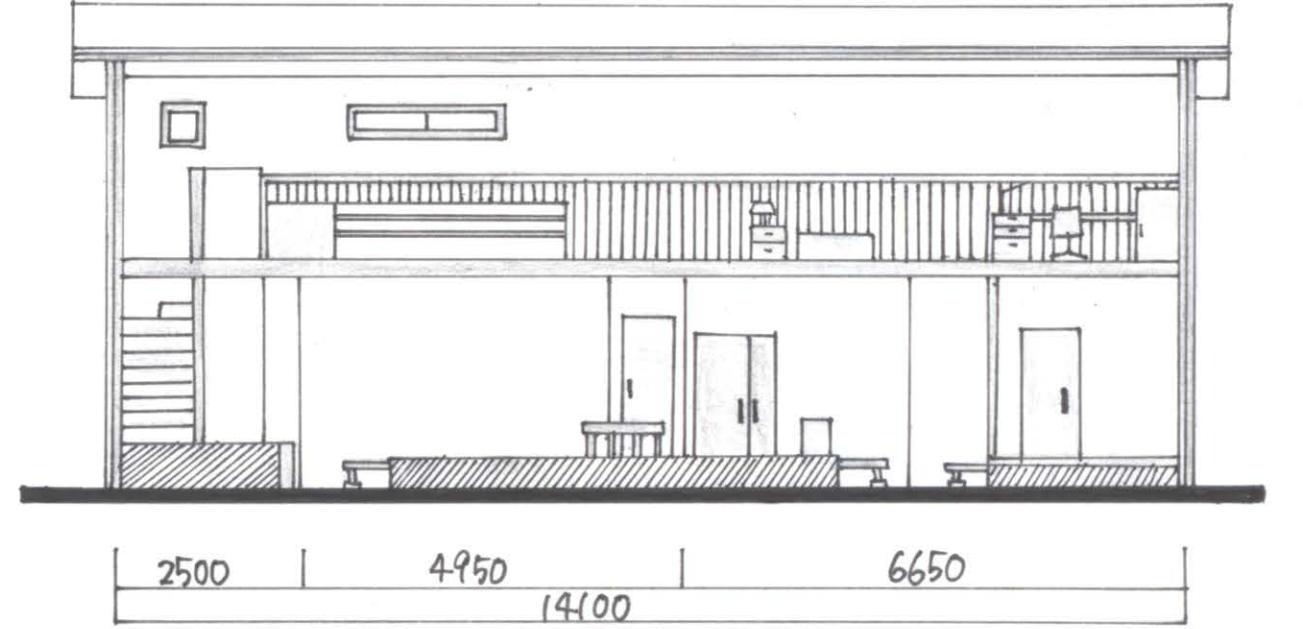
2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



A-A'断面図 S=1/100